

学生相談室・スポーツカウンセリンググループだより



夏の終わりから秋にかけて、非常に強い台風が日本列島を通過しました。なかでも台風 21 号は、大学構内にも甚大な被害をもたらしました。激しく吹きすさぶ風の音を聞き、建物の一部が吹き飛ばされる光景を見て、自然災害の恐ろしさが心に刻まれた人も、決して少なくないでしょう。

この、台風が過ぎ去るのを待つ間の行動は、人によって様々だったと思います。しかし、最新の台風情報入手して、自分や家族の身を守ることに意識を集中したのは、みなさん同じだったでしょう。職務上の責任を負っている人も、自分の身の安全を守るとは、大前提だったと思います。台風という強力な“雨風をしのぐ”ことができ、翌日の青い空を安堵の心で見上げた人も多かったと思います。

最近私は、『学生相談研究』誌のなかに、「大人になることは、“しのいでいく力”を身につけること」、という文章を見つけました。“しのぐ”とは、“なんとか耐えて切り抜ける”という意味です。経験したことのない困難に出会っても、なんとか“しのいでいく力”をつけていくこと。それが、大人になっていくことだ、という説明に、「なるほど」と思いました。

果敢に立ち向かうこと、努力して乗り越えること、というのではなく、なんとか“しのいでいく”こと。ひかえめで、消極的にさえ感じるけれど、“しのいでいく”という力がもつたくましい生命力を、台風をしのいだ経験とも重ね合わせつつ、みなさんと一緒に考えてみたいなあ、と願っています。

大阪体育大学学生相談室・スポーツカウンセリンググループ

✉ mental@ouhs.ac.jp

☎ 072-453-8936